

## いのちを守る学習～交通安全教室を実施しました～

本校では、子どもたちが日々の生活の中で「自分の命を自分で守る力」を身につけることを目的に、5月12日(火)と14日(木)に交通安全教室を行いました。学年に応じた内容で、実際に体を動かしながら交通ルールを学ぶ大切な時間となりました。

### 1・2年生：動画と体験で学ぶ交通ルール

1・2年生は5月12日、体育館で交通安全DVDを視聴し、信号の見方や横断歩道の渡り方などについて説明を聞きました。実技では、車の「死角」になる位置から歩道へ出る体験を行い、色が変わる信号機を見ながら、左右の確認や手を挙げて渡る練習をしました。子どもたちは真剣な表情で取り組み、学んだことを体で覚えようとする姿が見られました。

### 3～6年生：自転車の安全な乗り方を学ぶ

3～6年生は5月14日、寺原自動車学校のスタッフ4名の方を講師に迎え、運動場で自転車教室を行いました。

まず、自転車の点検方法である「ぶ・た・は・しゃ・べる」(ブレーキ・タイヤ・ハンドル・車体・ベル)について実演を交えて学びました。ブレーキがきくか、タイヤの空気は十分か、ベルは鳴るか、サドルやハンドルはぐらついていないか、反射材やライトは機能しているか、保険(TSマーク)は有効かなど、細かい点まで丁寧に確認しました。また、ヘルメットの重要性についても説明があり、頭を守ることが命を守ることに繋がると学びました。

続いて、自転車の正しい乗り方やブレーキ操作について指導を受け、スピードを出してから減速し、安全に止まる練習を行いました。子どもたちは、走る・減速する・止まるという一連の動きを繰り返しながら、安全な乗り方を身につけていました。

さらに、自転車の交通ルールが変わったことについても学びました。車道では左側通行であること、歩道では歩行者が左側、自転車が右側を通行することなど、実際の場面を想定しながら確認しました。

### <学校からのお願い>

交通安全は、学校だけで身につくものではありません。ご家庭での声かけが、子どもたちの安全を大きく支えます。信号や横断歩道では、必ず立ち止まり、左右を確認し、青になってもすぐに飛び出さず、車が完全に止まっていることを確かめてから渡る習慣をつけてください。また、自転車に乗る前には、ブレーキ・タイヤ・ベル・サドル・ハンドル・反射材・ライト・保険の有効期限などを点検し、ヘルメットを正しく着用するようにお願いします。スマートフォンを見ながら歩いたり、自転車に乗ったりすることは大変危険です。ご家庭でも繰り返し注意していただければと思います。

今回の交通安全教室では、子どもたちが自分の命を守るためにどう行動すべきかを、実際の体験を通して学ぶことができました。これからも学校と家庭が協力し、子どもたちが毎日安全に登下校できるよう支えていきたいと思ひます。



1・2年生の様子



3～6年生の様子